

PTA実践発表

テーマ

『未来に向けて今できること～家庭につながるPTA活動～』

● 発表者

長良中学校PTA

- 川崎久司(会長)
- 渡辺美保(副会長)
- 佐村寿江(副会長)
- 堀 憲子(書記)
- 川井若菜(書記)
- 氏家祐子(会計)
- 國田美恵(会計監査)
- 八巻志穂(会計監査)

● コミュニティ・スクール

『長良川学園』とは

2017年に創立70年を迎える長良中学校は、隣接する長良西小学校と1小1中の校区です。コミュニティ・スクールとして本年度より、「長良川学園」長良中学校、「長良川学園」長良西小学校として、小中学校9年間の連続した子どもの育ちを地域ぐるみで

始めに▶▶

長良中学校は、「中学校とは大人になるための学校」と日々生徒に発信しています。そして私たち保護者は、将来自立した生活を営む上で必要となる資質や能力を、子どもたちに身に付けてほしいと願います。自ら考え行動できる自立に向け、校長先生をはじめ教職員とともに、今、子どもたちのためにできるPTA活動とは何かを考え、様々な活動にチャレンジしています。

自立への取組▶▶▶

① 食育活動 子どもが将来健全な食事をとり、正しい生活習慣を身に付けること。会話が少なくなる思春期の子どもたちと家庭内で親子の絆を深めるため食卓を見つめ直す。この2点を目的とし、平成21年度より始めた活動です。初年度は親子で参加するPTA講演会に竹下和男先生を招き、「弁当の日」の取組を紹介いただき、その後、子どもたちだけで作る「弁当の日」を行いました。翌年にはこの活動を、食に対して、人に対して感謝の気持ちを持ってほしいという願いから「ありがとうの日」と命名し、年6回、それぞれテーマを作り各家庭でも取組むよう活動を広げましたが、平成23年度以降は取組を見直し、負担軽減をはかり、年3回の活動としています。毎年11月は、子どもたちだけで作る弁当を学校で食べて、午後からPTA講演会を親子で楽しむ機会としています。

② 生徒会執行部との意見交換交流会 「ありがとうの日」を取組み始めた翌年、直接子どもの意見を聞きたいという思いから始まった交流会。PTA本部役員と生徒会執行部がお互いの取組を意見交換する場として行います。本年度の交流会では、生徒会執行部の誰もが不安や悩みを抱えながらの活動で、周りが呼びかけに答えてくれない、活動がなかなかうまくいかない、毎日が迷いや葛藤の連続である様子を知ることができました。また同時に子どもたちの責任感の強さを感じることができました。意見を聞いたり、助言をしたりし、互いの思いを共有できる有意義な場となっています。

③ 家庭教育学級「子育てサロン」開催 本年度初めて「子育てサロン」を開催しました。初めに、子どもの生活習慣や、我が家のルール、保護者の悩みなど6つのテーマについて自由に意見を出し合いました。後半は校長先生と、子どもとの接し方、言葉かけでの大切なことなどの意見交換ができました。校長先生に直接質問できる機会でもあり、参加者から好評でした。

④ PTA講演会「部屋も頭もスッキリ かたづけの習慣講座」開催 「時を守り、場を清め、礼を尽くす」というしつけの教えをもとに11月のPTA講演会開催の前に、子どもたちに生活習慣アンケートを実施しました。素直に答える子どもたちからは、日頃の生活習慣を知ることができ、上級生になるほどに成長していく姿をアンケート結果から学びました。PTA講演会は、日本初のかたづけ士 小松 易先生より「かたづけによって本当にやりたいことが見え、生き生きと楽しい人生が送れる」と題したお話で、かたづけの学びから生活習慣のコツなどを教えていただきました。子どもたちと活発な話のやり取りがとても有意義な時間となりました。

活動の願い▶▶▶▶

親も子も、今、目の前にあるどんなことにでも真心を込めてあたることが「未来に向けて今できること」であり、豊かな人生へ、豊かな家庭へとつながることだと思います。私たち保護者は、子どもたちと一緒にあって、正しい生活習慣を身につけ、自らの意志で動ける人になってほしいと願いを込めて、日々PTA活動に取組んでいます。